

ホンモノ体験

オープンラボ新聞



今日のOPEN LABO. ショート動画

ホンモノ体験フォトギャラリーと今回のOPEN LABO.のショート動画

発行人
StudioNoguchi

次回以降のテーマ

- ▶飛び込め！マイクロ がん細胞、年取った細胞、若返る細胞
- ▶顕微鏡で見るマイクロの世界
- ▶錠剤の仕組み：
錠剤を作り、機器で評価してみよう
- ▶海岸にでて漂着物を調査しよう！
- ▶あなたもチーズ職人！
今回はモツアレチーズ
- ▶作って実感、使って感動！
指示薬メチルオレンジを作ろう！
- ▶インフルエンザ検査体験により診断に関わってみよう！
- ▶家庭にある道具だけで、
様々な食材からDNAを抽出してみよう。
- ▶身の周りに存在するバイ菌を見てみよう、育ててみよう！
- ▶動物看護師を体験してみよう！

合同開催

2024年5月26日(日)本年度のオープンラボが始まった。取材班は生物・化学のスペシャリストによる白熱実験の様子を報告する。

「マイクロワールド探検隊〜細胞の不思議な世界へ!」は危機管理学部棟2Fに位置する実験室で開催された。部屋には無数の顕微鏡が並ぶ。来場者は贅沢に1名1台顕微鏡を使用し細胞の不思議な世界を観察した。一方、薬学部棟3Fで開催された「光る水 ルミノールを作ろう」は、モノづくりだ。試験管の中で起きていることを想像し、試薬を加える。あの独特な香りとルミノールの輝きは一生の思い出になること間違いないだろう。(詳細は二面)

オープンラボ開幕



「OPEN LABO.」紹介動画
テーマ概要と講師の雰囲気がつかるショート動画!!!



大学HP「OPEN LABO.」
テーマ概要や予約ができる



「マイクロワールド探検隊〜細胞の不思議な世界へ! 担当スタッフ」

想像力・創造力

マイクロワールド探検隊 細胞の不思議な世界へ!

このイベントは2部構成であった。最初は「細胞ダイブ」。自分の目では決して見ることができない口の中の細胞を、顕微鏡で観察した。

▽細胞を顕微鏡で見ても、自分の体にたくさんいる細胞があるんだなと改めて感じました。
参加者は、様々な形の自分の細胞に目を見張っていた。

光る水 ルミノールを作ろう!

このテーマはルミノールを光らせるのではなく、ルミノールを合成し光らせるといふ実験だ。決して成功率は低くはない。しかし、最終段階の発光試験が終わるまで成功かはわからない。今回は「全員」が発光試験に成功した。来場者のコメントを何件か紹介する。

- ▽化学っておもしろい
- ▽衝撃の体験
- ▽先生たちが優しい
- ▽化学嫌いが払拭されました
- ▽学校ではできない体験



ルミノール発光全員成功「パチパチパチ（拍手）」

2つ目は細胞探偵団。8台の顕微鏡にセットされた標本を観察し、がん細胞やウイルスに感染した細胞、カビが繁殖した細胞を探してゆくという企画だ。

参加者のなかには、全問正解する人もいて、モチベーションの高さを感じられた。

▽先生、学生さんが優しく教えてくれたので、あっという間でできたんです。
オープンプラボは終わらない!

6月はマイクロの世界のコラボレーション

6月のオープンプラボで初の共同開催が決定した。現段階でのテーマイメージを左に記す。これらがどのように交わり一つのイベントになるのかワクワクが止まらない。なお6月はどちらかを予約すれば事前予約完了である。

小濱先生 普段よく目にするものでも、顕微鏡を使うと違った側面が見えます。

例えば、バナナやタマネギ、ヨーグルトなどの食材は、顕微鏡で見るとどのように見えるのでしょうか?近所で目にする川や池などの水中には、どのような生物が生息しているのでしょうか?ぜひ一緒に確かめてみましょう!

佐々木先生 私たちの身体は細胞できています。細胞のおかげで私たちは元気で健康な生活を送ることが出来ます。でも時には病気になることもあります。混雑すると増殖や運動が止まるのが正常な細胞です。接触しても分裂が止まらない細胞はがんを引き起こします。年を取ったりすると細胞はどうなるのでしょうか。年を取った細胞が若返ることはあるのでしょうか。細胞が動き回ったり増殖したりする様子を見て、また実際に作業をして標本を作ってみて考えてみましょう。

「今回のオープンプラボを通して、いかに理科や生物学、細胞検査士の仕事に興味関心を持ってもらえるか、楽しんでもらえるかを考えるのは大変だったけど、とても楽しかったです。専門的な事をいかに簡単な言葉で伝えられるかを考えながら話すのがとても難しく、日々臨床検査のことを教えてくださっている先生方に感銘を受けました。また、細胞診の良さを伝えることで、今までの知識の再確認ができ、改めてこの分野の楽しさを知ることが出来ました。」



スタッフも成長♪



説明を担当した石橋さん

と、やり切った表情を見せるのは「マイクロワールド探検隊」で実験の説明を担当した学生だ。オープンプラボは来場者だけでなくスタッフも成長する!